学位論文タイトル紹介 81

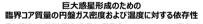
学位論文タイトル紹介

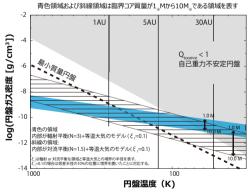
惑星科学関連分野にて博士号または修士号を近年取得された会員の研究内容を学会員に広く知ってもらう目的で、論文タイトルを掲載いたします。項目は、(1)氏名、(2)論文タイトル(現題名)、(3)論文タイトル(和訳名)、(4)論文提出時の所属、(5)学位取得年・月、(6)次の所属、の順です。希望者は、論文の結果を最もよく表す図を1枚掲載できます。

この記事に関するお問い合わせは編集長(chiefeditor@wakusei,jp)までお願いいたします。 ※毎年6月号に、過去3年まで遡って掲載可能、投稿方法等はomlにて案内いたします(2月頃).

博士論文-

- (1) 金川 和弘(かながわ かずひろ)
- (2) Study on formation of gas giant planets in a protoplanetary disk
- (3) 原始惑星系円盤での巨大ガス惑星形成に関する研究
- (4) 北海道大学理学院宇宙理学専攻
- (5) 2013年3月
- (6) University of Szczecin, Group of Astronomy and Astrophysics (2016年2月から)

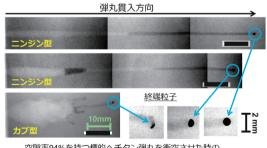




- (1) 松本 徹(まつもと とおる)
- (2) Three-dimensional structure and surface micromorphology of regolith particles from asteroid Itokawa: Implication for space weathering of regolith
- (3) 小惑星イトカワのレゴリス粒子の3 次元構造及び

表面微細構造から探るレゴリスの宇宙風化

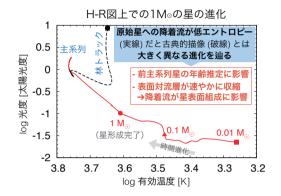
- (4) 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻
- (5) 2014年3月
- (6) 宇宙航空研究開発機構 地球外物質研究グループ
- (1) 岡本 尚也(おかもと たかや)
- (2) An experimental study on collisional evolution of highly porous small bodies
- (3) 空隙の大きな小天体の衝突進化に関する実験的研究
- (4) 神戸大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻
- (5) 2015年3月
- (6) 千葉工業大学惑星探査研究センター



空隙率94%を持つ標的ヘチタン弾丸を衝突させた時の X線透過画像、衝突速度は上から順に2.6, 4.0, 6.7 km s·1

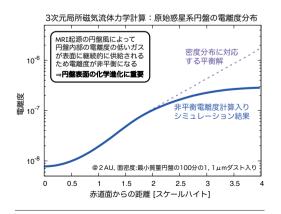
- (1) 國友 正信(くにとも まさのぶ)
- (2) Evolution of Pre-Main Sequence Stars and Its Environmental Impact on Their Circumstellar Disks

- (3) 前主系列星の進化と星周円盤への影響
- (4) 東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻
- (5) 2015年3月
- (6) 名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻



(1) 藤井 悠里(ふじい ゆり)

- (2) Ionization Dynamics and Magnetorotational Instability in Protoplanetary and Circumplanetary Disks
- (3) 原始惑星系円盤及び周惑星円盤における電離度の ダイナミクスと磁気回転不安定性
- (4) 名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻
- (5) 2015年3月
- (6) Niels Bohr International Academy, University of Copenhagen, Denmark



- (1) 石山 謙(いしやま けん)
- (2) Study of lunar subsurface evolution based on the SELENE observation data and impact experiment
- (3) SELENE 観測データと衝突実験に基づく月表層 進化の研究
- (4) 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻
- (5) 2016年3月
- (6) 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所

(1) 巽 瑛理(たつみ えり)

- (2) Impact-induced resurfacing process on asteroid Itokawa inferred from impact experiments and reflectance spectroscopy analyses
- (3) 衝突実験と反射スペクトル解析による小惑星イトカワの衝突表面更新過程の解明
- (5) 2016年3月
- (6) 東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻

(1) 田中 佑希(たなか ゆうき)

- (2) Magnetohydrodynamical Mechanisms for Outflows from Hot Jupiters
- (3) 巨大灼熱惑星の磁気流体力学的質量放出機構
- (4) 名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻
- (5) 2016年3月
- (6) 国立天文台

学位論文タイトル紹介 83

修士論文-

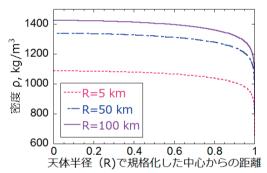
- (1) 加藤 伸祐(かとう しんすけ)
- (2) Thermal evolution of the Moon revealed from composition and topography of lunar maria

(3)

- (4) 名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻
- (5) 2015年3月
- (6) 名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻
- (1) 大村 知美(おおむら ともみ)
- (2) 粉粒体天体内部の密度構造に関する実験的研究

(3)

- (4) 神戸大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻
- (5) 2016年3月
- (6) 神戸大学大学院理学研究科



天体構成粒子層の圧縮特性を与えることで、自己重力による天体内部密度構造を推測する方法を提案した、構成粒子層の圧縮特性を海砂(メジアン径13 μm、真密度2500 kg/m3)の圧縮実験で得られた結果と同じであるとすると、各天体半径において上図のような密度構造を推測できる。

(1) 澤田 なつ季(さわだ なつき)

(2) Formation process of linear gravity anomalies of the Moon

(3)

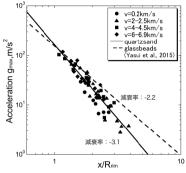
- (4) 名古屋大学環境学研究科地球環境科学専攻
- (5) 2016 年3 月

(6)

- (1) **松榮 一**真(まつえ かずま)
- (2) レゴリス層を模擬した粉粒体を伝播する衝突励起 地震に関する実験的研究

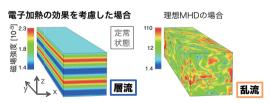
(3)

- (4) 神戸大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻
- (5) 2016年3月
- (6) 神戸大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻



ポリカーボネート球弾丸を衝突速度を変えた時の、衝突励起振動の最大加速度 g_{max} とクレーター半径で規格化した距離x/Rの関係図である。 g_{max} は衝突条件によらずx/Rでスケールできることが明らかとなった。衝突励起振動の距離減衰率は、標的物質によって異なり、石英砂標的では、x/Rの-3.1乗で、ガラスビーズ標的では、x/Rの-2.2乗で減衰することがわかった。

- (1) 森 昇志(もり しょうじ)
- (2) The Effects of Electron Heating on the Magnetorotational Instability in Protoplanetary Disks
- (3)
- (4) 東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専 攻
- (5) 2016年3月
- (6) 東京工業大学



電子加熱によって電流が十分抑制されると、 MRI乱流が発生しない → 円盤乱流を抑制